

## 施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
概要	<p>高度経済成長に伴い、昭和40年代以降、多くの公共施設を整備してきましたが、現在では老朽化が進み、また、人口やその構成が変化していることから、公共施設のあり方について、見直す必要があります。</p> <p>そこで、公共施設の総合的なマネジメントにより、施設の適正な配置と維持管理を推進するとともに、戦略的な有効利用を図ります。</p> <p>また、コンパクトな町域に市街地を形成している町の特徴を活かしたまちづくりを進めるため、計画的な土地利用の誘導を図り、誰もが移動手段を確保できるような、交通網の形成を図ります。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	土地利用調整事業 (No.34)	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(2)	東大跡地・国立小児病院跡地の検討 (No.39)	1	97.8	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)	道路整備・管理事業 (No.40)	5	88.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	地域公共交通計画推進事業 (No.41)	2	91.9	50.0	50.0	0.0	0.0
(5)	公園整備・管理事業 (No.43)	2	98.6	0.0	100.0	0.0	0.0
(6)	情報システム運営事業 (No.88)	3	99.3	100.0	0.0	0.0	0.0
(7)	公有財産管理運営事業 (No.89)	26	93.6	61.5	30.8	3.8	3.8
(8)	安心して住み続けられる地域再生事業 (No.90)	2	98.8	100.0	0.0	0.0	0.0

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設再配置・町有地有効活用の実現に向けた計画の進行管理と財源の確保</li> <li>・コミュニティバスの再編による効果検証</li> <li>・開発等指導事業の制度を分かり易く解説する『開発の手引き』の改訂</li> <li>・道路整備等の住民要望や施設維持のための財源確保</li> </ul>
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	A
	説明	<p>公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の策定により、公共施設再配置の短期10年間の具体的な取り組みが明らかになったため、引き続き、計画に基づき事業を推進していく。また、東大跡地は、平成31年度からの土地活用について、町民ワークショップや意見募集等により、町民とともに検討を進めていく必要がある。インフラについては、二宮町公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に事業を推進していくとともに、地域公共交通についても、コミュニティバスの再編の状況を検証し、地域と協議をしながら、地域公共交通の維持を図っていく。</p>

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	<p>公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づき、今後、短期10年間の取り組みを引き続き実施していく。また、公共施設の適正な配置とインフラの維持管理、地域公共交通の確保等は、時代の変化や住民のニーズに対応する必要があることから、町民ワークショップや意見募集など、町民の意見を取り入れながら検討していく。</p>		

◎最終評価者[庁内評価委員会]



① 現状維持



②改善して町が実施



③改善して町以外が実施



④要検討

意見等

交通環境と防災対策の向上の実現のために、公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいる。

今後、さらに推進するために、長期的な公共施設・土地利用のあり方を見据えながら、計画に基づき、将来における施設の適正配置や維持管理を推進していく必要がある。そのために、町民意見の積極的な聴取や、町民の主体的な管理運営組織の立ち上げなど、町民とともに取り組んでいけるまちづくりの手法を検討していく。